



株式会社SAKIGAKE JAPAN

日本の先進的な防災テクノロジーを世界へ

2026/05/15

Presented by Munetoshi Kondoh, CEO



Contact: contact@sakigakejp.com | [LinkedIn SAKIGAKE JAPAN Corp.](#)

コンテンツ

1. 代表紹介	P.03	12. 今後の展開とビジョン	P.28
2. 会社紹介	P.04	13. 開発中のサービス	P.30
3. 我々のミッション	P.05	14. トラックレコード（2024年度）	P.34
4. 市場規模	P.08	15. トラックレコード（2025年度）	P.36
5. メンバー紹介	P.09	16. トラックレコード（2026年度）	P.38
6. ビジネスモデル	P.10	17. お問い合わせ先	P.39
7. 事業概要	P.12		
8. フェーズフリーについて	P.14		
9. 主要ソリューション概要	P.15		
10. 製品例①②③	P.16		
11. サービス例①②③	P.25		

代表紹介



SAKIGAKE



■氏名

近藤宗俊 (Kondoh Munetoshi)

■資格

防災士 (No:256888) / 災害備蓄管理士 /
東京消防庁応急手当普及員 / 事業継続管理者など

■肩書

株式会社SAKIGAKE JAPAN 代表取締役/CEO、防災プロデューサー

■略歴

株式会社リクルートなどで複数の新規事業を立上・推進ののち、
日本の先進的な防災製品やサービスを国内外へ広く展開するため、
2023年12月に株式会社SAKIGAKE JAPANを設立。
東京都・海外展開支援プログラムやJETRO海外派遣プログラム
"Local to Global Success"等に採択。他多数。

会社紹介



社名

株式会社SAKIGAKE JAPAN

事業概要

日本の先進防災テクノロジーを国内外へ広域展開する

所在地

東京都中央区日本橋室町1-11-12 日本橋水野ビル7階

福岡県福岡市中央区大名2-6-11 Fukuoka Growth Next

代表

近藤宗俊（創業者・CEO）

設立

2023年12月

Web

<https://sakigakejp.com/>



我々のミッション（1/3）

日本は古来より災害大国、
災害リスク軽減のため
多様で重層的な技術が蓄積されている

（2011年から2024年までの主な国内災害）

我々のミッション（2/3）

気候変動リスクの高まりなどにより、
世界中で自然災害リスクが
かつてなく高まっている

*NASA, *The Effects of Climate Change
<https://science.nasa.gov/climate-change/effects/>

我々のミッション（3/3）



“仙台フレームワーク”に代表される
日本の国際的な防災枠組みに則り、
地域の災害レジリエンスを高めていく

*UNDRR（国連防災機関）、
<https://www.preventionweb.net/sendai-framework/sendai-framework-at-a-glance>

市場規模（2025推定）

世界市場は数十兆円規模へ拡大、日本市場は数千億円台で安定成長中
海外のポテンシャルと国内での強固なニーズの両軸を攻める

TA
1.1兆/
年

SAM
1,500億/
年

SOM
3.3億/
年

● 全世界のレジリエンス・防災関連市場の合計

全世界の「防災対策」「レジリエンス強化」向け製品・サービスに投じられる予算合計。ハードウェア（蓄光サイン、ヘリポート、オフグリッド冷蔵など）、ソフトウェア（洪水予測システム）、コンサルティング・研修まで含む。

● 弊社にて現実的にカバー可能な領域の合計

- ・ハード：Cold Storage、光燐、Aster Power Coating等の合計
- ・ソフト：Climate Vision の導入対象（自治体・企業向け）
- ・サービス：研修・コンサルティング需要

● 初期（1～2年程度）で獲得可能なエア規模

- ・自社のリソース（人員、技術、営業チャネル）と直近のパイロット実績から現実的に見込めるシェア。
- ・日本国内：約2.8億円＋海外：約0.5億円

メンバー紹介



近藤 宗俊
kondoh Munetoshi

代表取締役/CEO

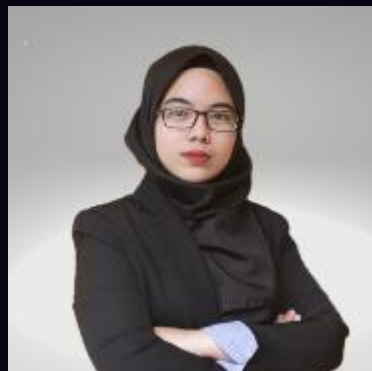
東京大学大学院で環境学の修士号を取得後、HR系スタートアップに新卒入社し、ビッグデータを用いたコンサルティング事業を新規立上・推進。その後、株式会社リクルートにてシステムと業務のコンサルティング及び新規事業開発をリード。2023年より防災ビジネスを創業し、各所プログラムに採択される。同年12月に株式会社SAKIGAKE JAPANを設立。現在に至る。



林 優 Hayashi Yu

広報/PR戦略

早稲田大学文学部 教育学コース卒。株式会社サイバーエージェント新卒入社。クラウドファンディングサイト「Makuake」にて、広報PRを担当。伴走したプロジェクト数は500件以上。その後、北海道に新設された日本酒蔵「上川大雪酒造」の広報PR担当を経て独立。複数のスタートアップ支援に携わり、2024年1月、株式会社SAKIGAKE JAPANの広報/PR戦略担当に就任。



Anis Shahirah
Ghazaly

マーケティング/渉外

マレーシア・ペトロナス工科大学で資源・地球環境学の理学士号を優等で取得。インドネシアのプルトミナ大学へ交換留学し、地質学関連のコースを修了し。並行して、ITコンサル会社でインターンとして勤務。日本の経済産業省主催の国際化促進インターンシップに参加し、2024年2月に株式会社SAKIGAKE JAPANで東南アジアマーケティング/渉外担当に就任。



Naufal Budi
Laksono

マーケティング/渉外

インドネシア大学で土木工学の学士号を取得（工学士）。現在、同大学の博士課程に在籍し、建設プロジェクトにおける安全対策、効率的なプロジェクトの計画・実施・品質管理に関する研究に従事。日本の経済産業省主催の国際化推進インターンシップに参加し、2024年2月、株式会社SAKIGAKE JAPANのオセアニア地域マーケティング/渉外担当に就任。

ビジネスモデル概要（1/2）

日本の先進的な防災テクノロジーの発掘と普及、
国内外の企業や自治体、政府との連携促進に取り組みます

（1）日本の先進的な
防災テクノロジーの発掘

（2）需要の創造と特定

（3）プラットフォーム運営



災害リスク軽減技術や
分析能力を持つ企業グループ

災害リスク軽減
技術マッチング

災害リスク軽減技術を必要とする
政府、自治体、企業グループ

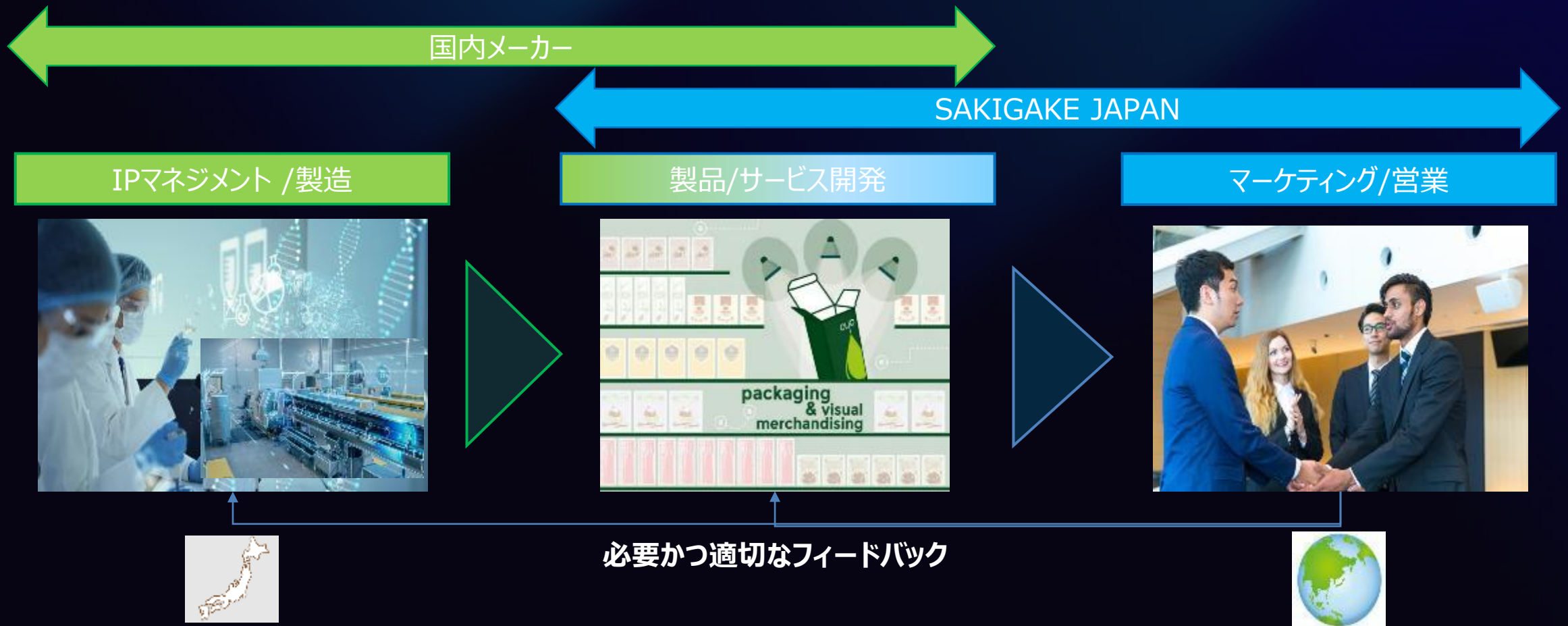


海外ニーズや
分析用データの提供

先進的な防災技術、
その動向の提供

ビジネスモデル概要 (2/2)

日本企業の海外展開をマーケティング戦略や営業イニシアチブによって促進
製品・サービス改善のため、顧客からのフィードバックを継続的に実施



事業概要（1/2）

先進防災テクノロジー マーケティング・営業支援



限られたリソースにお困りの企業を対象に、市場調査から営業代行、カスタマーサクセスまで包括的に支援し、販路拡大とブランド力の向上を実現します。

事業継続計画（BCP） 策定支援



企業や自治体向けに、業種や規模に応じた伴走型の事業継続計画（BCP）を策定支援し、災害・感染症・停電・物流遮断など多様なリスクに備えます。

防災事業 コンサルティング



防災事業の立ち上げ・実装をサポートします。課題整理から計画策定、トレンド分析や社会実装まで、事業化に向けた実践的な伴走支援を行います。

事業概要（2/2）

防災教育イベント 企画・運営



リアルなシナリオとゲーム要素を融合し、子どもから高齢者まで参加できる、体験型・エンタメ型の防災イベントを提供。防災とスポーツを組み合わせるなど、学びとワクワクを両立させます。

防災講師 派遣サービス



経験豊富な防災講師を学校、企業、自治体向けに派遣。フェーズフリー、防災テクノロジー、地域防災、BCP、災害時対応など、目的に応じた講義内容で対応します。

先進防災テクノロジー データベース開発・運用



国内外の先進的な防災製品・サービスを約1,000件以上収録した独自のデータベースを開発。検索性・網羅性・実用性に優れ、製品導入検討や教育、コンサルテーションなどに活用します。

フェーズフリーとは

災害時と平時のインフラを分けない、日本発信の価値観



身のまわりにあるモノやサービスを、
日常時はもちろん、非常時にも役立つように
デザインする考え方『フェーズフリー』。

防災用品のほとんどは、ふだんは使用されません。
非常時のみに取り出して使うものです。

フェーズフリー品は日常時のいつもの生活で
便利に活用できるのはもちろん、非常時のもしもの際にも
役立つ商品・サービス・アイデアです。

引用) フェーズフリー協会 <https://phasefree.or.jp/phasefree.html>

主要ソリューション概要



次世代避難所

海外の避難所運用事例や人道支援基準を参照し、3D化・シミュレーション・VR訓練で、地域に最適な「動ける避難所」を設計。



土砂災害監視杭「DIPPS Cloud」

地面に挿すだけで土砂災害の兆候をリアルタイムに遠隔監視する。収集データは、クラウド経由でいつでもどこでも確認可能。



防災教育イベント

災害への備えを魅力的で思い出深いものにする、スポーツをベースとしたインタラクティブなプログラム。



海外防災マーケティング

サウジアラビア政府主催「世界防災フォーラム」にゲスト企業として参加（サウジアラビア・リヤド）



Aster Power Coating

塗るだけで建物の耐震性を高める特殊耐震塗料。高耐久性、美観、耐震性を備えた高度な保護コーティング。



高輝度蓄光サイン「光燐」

10年以上の耐久性と持続可能性を目指して設計された、長寿命でエネルギー効率の高い照明ソリューション。



災害対策士能力認定制度

東京大学と連携して、災害リスク軽減マネジメントの専門家を育成および能力認定する資格制度。



防災講演

日本・福岡県の北九州商工会議所で防災とBCPIに関する講演会を開催（福岡県北九州市）

製品例①：特殊耐震塗料“Aster Power Coating”

東京大学生産技術研究所で開発された特殊耐震塗料。
塗るだけで震度7の地震に複数回耐えうる



Produced by 株式会社Aster

製品例①：特殊耐震塗料“Aster Power Coating”

特長3選



耐震性向上

特殊なガラス繊維と柔軟性ある樹脂を組み合わせ、マソナリー構造に強度を付加。壁のひび割れや崩落を防ぎ、**震度7の地震に複数回耐える。**



耐久性向上

屋外環境や経年劣化に強いコーティング。防水性・耐候性にも優れ、紫外線や風雨による**劣化を抑制**し、長期間にわたって建物を保護します。



美観維持

厚みを持たず、ローラー施工で均一な仕上がりが可能。元の外観を損なわず、ひび割れや剥がれの発生も少なく、建物が有していた**資産価値を守ります。**

製品例②：高輝度蓄光サイン「光燐（KORIN）」

日中の光で夜間“12時間”、“10年以上”
屋外で活用できる高輝度蓄光サイン
「光燐（KORIN）」

製品例②：高輝度蓄光サイン「光燐」

特長3選



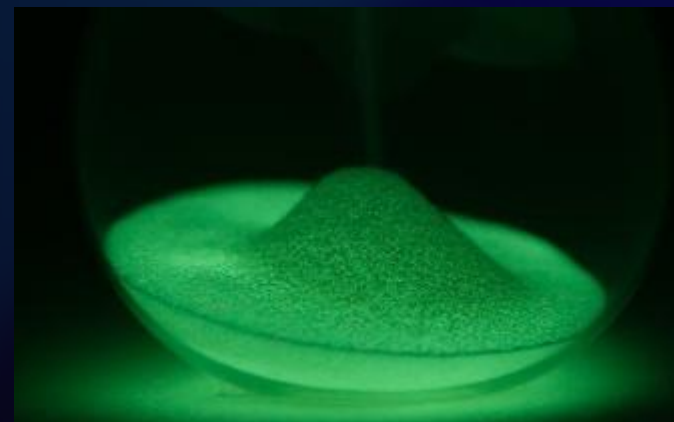
長期残光性能

日光や照明で蓄えた光を夜間に**約12時間**放出し、停電時の避難誘導を確実にサポート。特殊コーティングにより屋外でも劣化を抑え、**10年間**ほぼ同じ残光性能を維持します。



メンテナンス不要

電源やバッテリー不要の設計で、発光不良のリスクなし。
バッテリー交換や点検も不要となり、人件費や廃棄コストを削減できます。



デザインフリー

薄型パネルから床ラインやステッカーまで**多様なフォーマット**を展開。シンプルなアイコン設計で、多言語・多文化の利用者にも直感的に避難経路を伝えられます。

製品例②：高輝度蓄光サイン「光燐」

設置環境やニーズに合わせた多彩なラインナップ



非常灯1



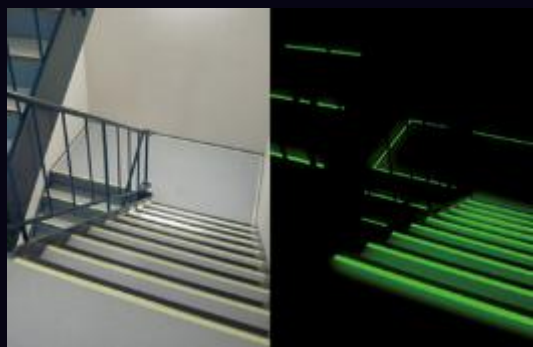
非常灯2



工場の避難誘導灯



公園の遊歩道



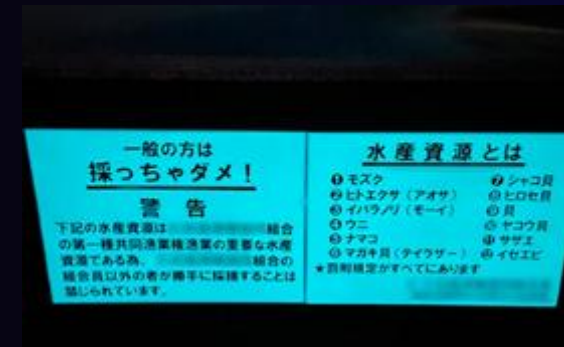
階段灯1



階段灯2



屋外標識1



屋外標識2

製品例③：土砂災害ポータブル監視杭システム「DIPPS Cloud」



「**DIPPS Cloud**」は、崖や斜面に杭を挿すだけで地盤の変動をリアルタイムに検知する、革新的な防災デバイス。

大規模な設置工事は不要。内蔵の精密センサーとクラウド連携により、危険な兆候をいち早く捉え、管理者や住民の迅速な避難判断を強援。

地域を見守り、未来を守る。

24時間365日、地域の安全を見守る。

DIPPScloud

自治体

地元工場

地域連携

地域を守る。

製品例③：土砂災害ポータブル監視杭システム「DIPPS Cloud」 特長3選



クラウド一括管理

データはクラウドに自動でアップロードされ、PCやスマホで、情報をいつでもどこでも確認。異常時はアラートも発信。



約2年の長寿命

内蔵バッテリーを搭載し「約2年」の継続稼働が可能。メンテナンスの手間を大幅に軽減します。



圏外でも運用可能

Starlinkや衛星通信キットとの連携により、電波の届かない山間部でも確実な監視網を構築。

サービス例①：海外マーケティング/営業支援（サウジアラビア・リヤド.2024）



The Risk, Emergency and Business Continuity Management Conference, 2024
In the Kingdom of Saudi Arabia

サービス例②：ミャンマー大地震影響調査（タイ・バンコク.2025）



Investigating the Impact of the Myanmar Earthquake
— Strengthening Disaster Preparedness Ties in Bangkok Thailand

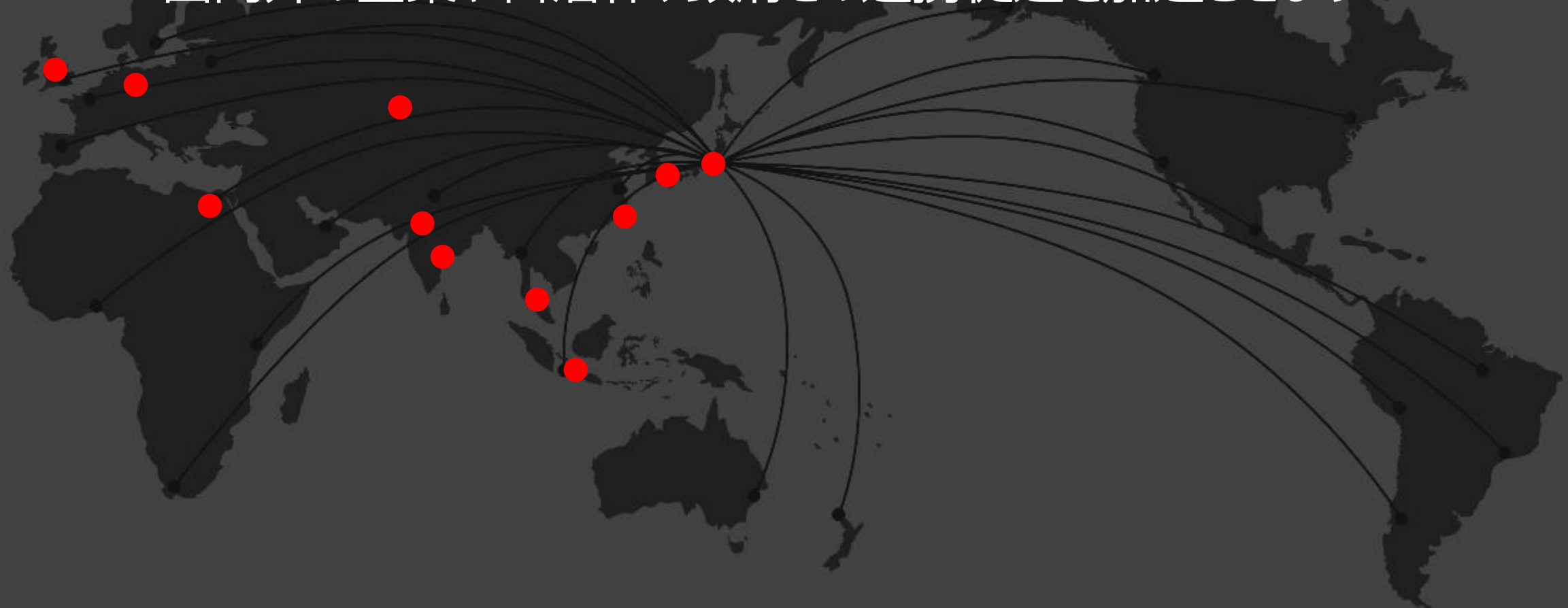
サービス例③：海外マーケティング/営業支援（ベトナム・ハナム省.2025）



Japan-Vietnam Disaster Risk Reduction Cooperation Dialogue
In Hanam Vietnam

今後の展開とビジョン

世界各地のメンバー・拠点と連携し、
日本の先進的な防災テクノロジーの発掘と普及、
国内外の企業や自治体、政府との連携促進を加速させます



第1期：2024年度トラックレコード（1/2）

2024年02月

インドネシア災害対策グローバルフォーラムへ招待講演者として登壇



2024年02月

東京都SUイノベーション事業「NEXs TOKYO」支援企業に採択

2024年03月

Tokyo Innovation Base（TiB）にて登壇

2024年04月

テレビ西日本主催のアクセラプログラム“Pit@t2024”ファイナリスト選出



2024年04月

経済産業省「環境適応グッドプラクティス集」へ選出 & 掲載

2024年04月

インド・ニューデリーで開催された国際防災会議「ICDRI2024」へ参加



2024年05月

防災ログ主催「防災・減災セミナー2024福岡」にて登壇

第1期：2024年度トラックレコード（2/2）

2024年06月

世界銀行・防災グローバルフォーラムへ協賛 & 出展



2024年07月

地域防災のリーダー育成のため、「日本防災士会」の講師へ就任

2024年08月

「フェーズフリーアワード2024」に入選

2024年09月

東北復興のシンボル地にて「防災×スポーツ」イベント開催



2024年10月

「熊本ぼうさいこくたい2024」にて登壇

2024年11月

経済産業省・JETRO主催の海外派遣プログラムに採択

2024年11月

“J-StarX”として、米国シリコンバレーへ派遣



第2期：2025年度トラックレコード（1/2）

2024年12月

サウジアラビア政府のゲスト企業として「REBCMフォーラム2024」へ出展



2025年01月

北九州商工会議所にて「防災とビジネス成長」をテーマに講演

2025年02月

国交省主催・フィリピン「第5回・日比防災協働対話」に出展

2025年03月

東京大学DMTCと「世界防災フォーラム2025 in 仙台」に共同出展



2025年04月

ミャンマー大地震を受けてタイ・バンコクにて影響調査を実施

2025年05月

東京都主催「SusHi Tech Tokyo 2025」へ出展

2025年05月

国交省共催・ベトナム「第13回・日越防災協働対話」に登壇・出展



第2期：2025年度トラックレコード

2025年06月

福岡Growth Next (FGN) に新拠点を開設

2025年07月

海外貿易活発化のためWAOJE (旧和僑会) へ入会

2025年08月

経産省「国際化促進インターンシップ事業」を通してインドインターン2名を受け入れ

2024年09月

マレーシアにて当国行政官僚19名へ日本の防災について講義

2024年09月

東京都「グローバルサウスGX促進プロジェクト」に選出

2025年10月

日本台湾交流協会から推薦を受けて「AioT Taiwan2025」へ出展

2025年11月

「日ASEANスマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合」に出展



第3期：2026年度トラックレコード（1/1）

2025年12月

東京都の推薦を受けて「Innovation Leaders Summit 2025」へ参加



2026年01月

次世代避難所の設計に向け、パナソニック「新領域市場探索プログラム」に採択

2026年01月

WAOJE福岡にて「防災事業のグローバル戦略」について講演



2026年02月

JETRO主催「防災分野海外市場開拓ラウンドテーブル」にてバイヤーとして登壇

2026年03月

経済産業省「事業継続力強化計画（ジギョケイ）」認定を取得



To Be Continued

お問い合わせ先



CONTACT



In Charge

近藤宗俊



Email Address

contact@sakigakejp.com



Phone Number

03-6687-3736



Inquiry Form

<https://sakigakejp.com/contact>